



平成28年度 第5回九州・沖縄ブロック
地域相談支援フォーラムin沖縄
～がんの告知を取り巻く支援を考える～

県章：県の花“うめ”を形どり、県の発展と
県民の融和を表しています。

「福岡県の相談支援の取り組み報告」

2017年2月11日(土)
地方独立行政法人大牟田市立病院
がん相談支援センター 北嶋 晴彦

福岡県がん診療連携拠点病院 体制

☆九州大学病院
☆九州がんセンター
◎済生会福岡総合病院
◎九州医療センター
◎福岡大学病院
◎福岡東医療センター
○福岡大学筑紫病院
◇浜の町病院

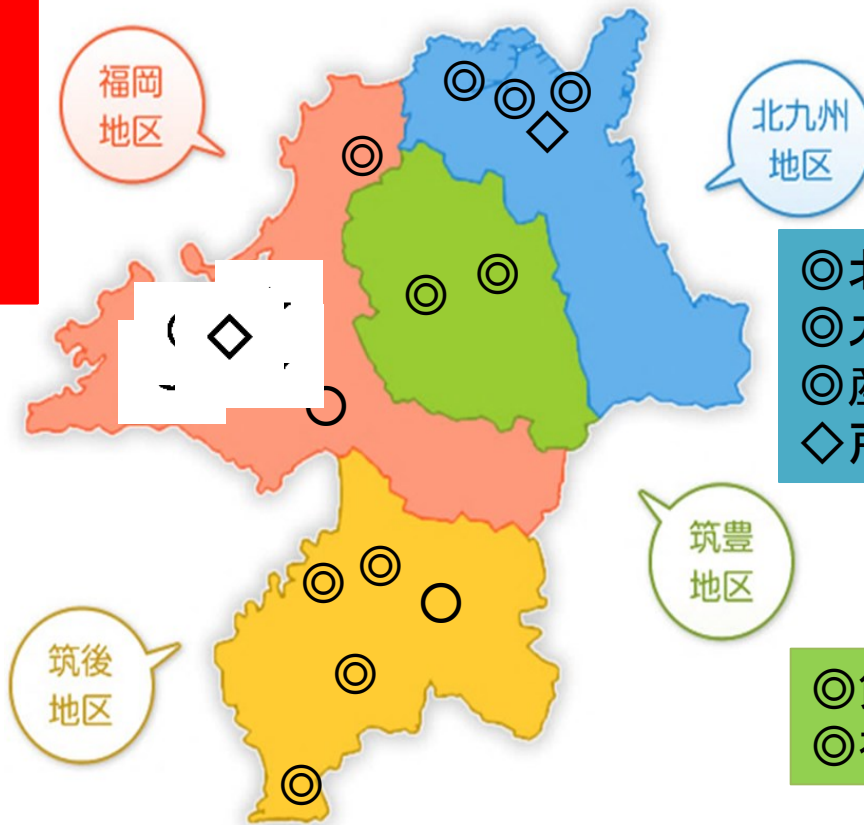
認定8人

◎久留米大学病院
◎聖マリア病院
◎公立八女総合病院
◎大牟田市立病院
○朝倉医師会病院

認定0人

全19力所

☆県拠点 2 ◎地域拠点 13
○地域がん診療 2 ◇県指定 2



◎北九州市立医療センター
◎九州厚生年金病院
◎産業医科大学病院
◇戸畑共立病院

認定4人

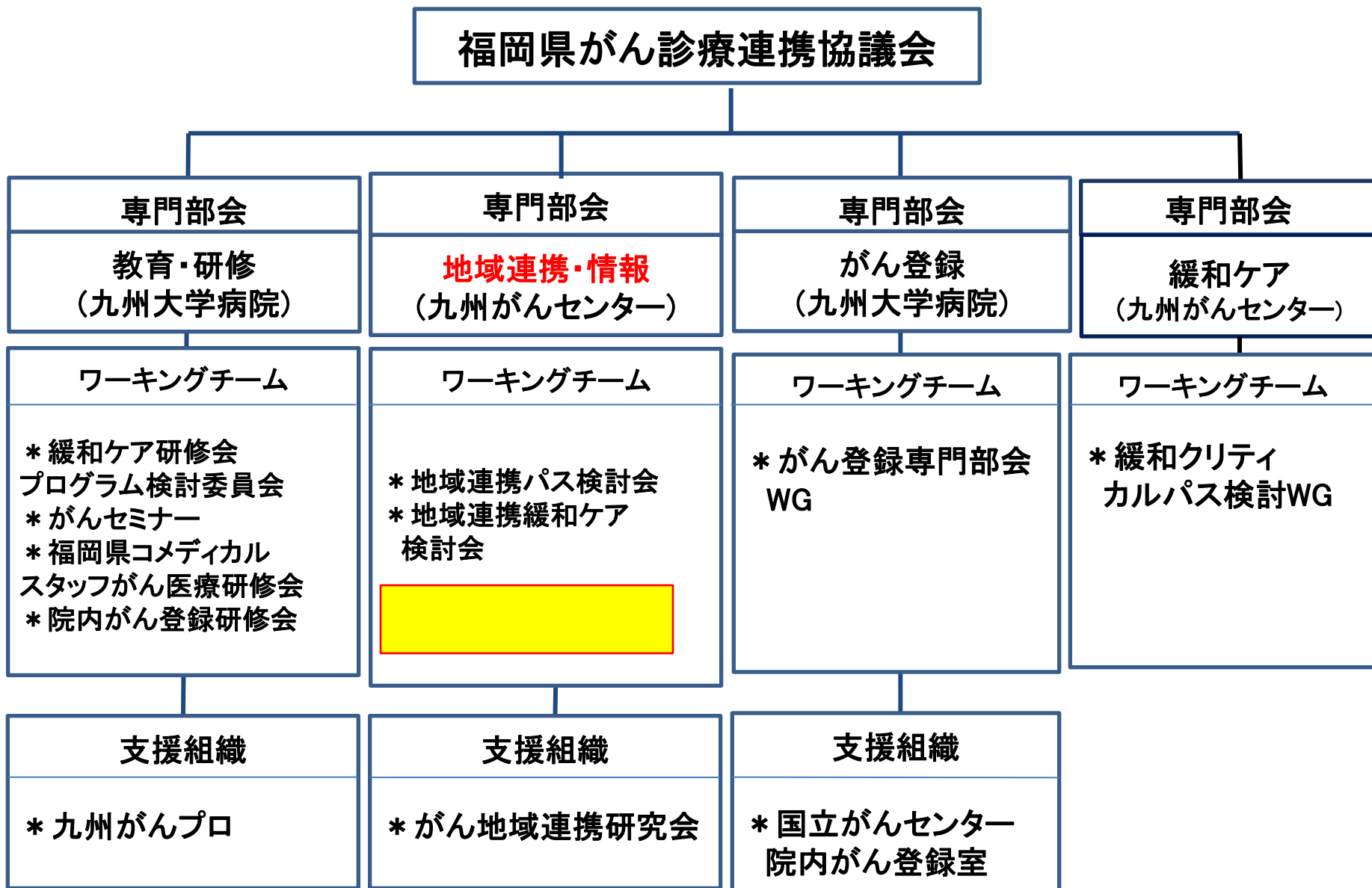
◎飯塚病院
◎社会保険田川病院

認定1人

認定がん相談専門員数 13人 (2017年1月現在)

部会の組織構成

福岡県がん診療連携協議会体制図

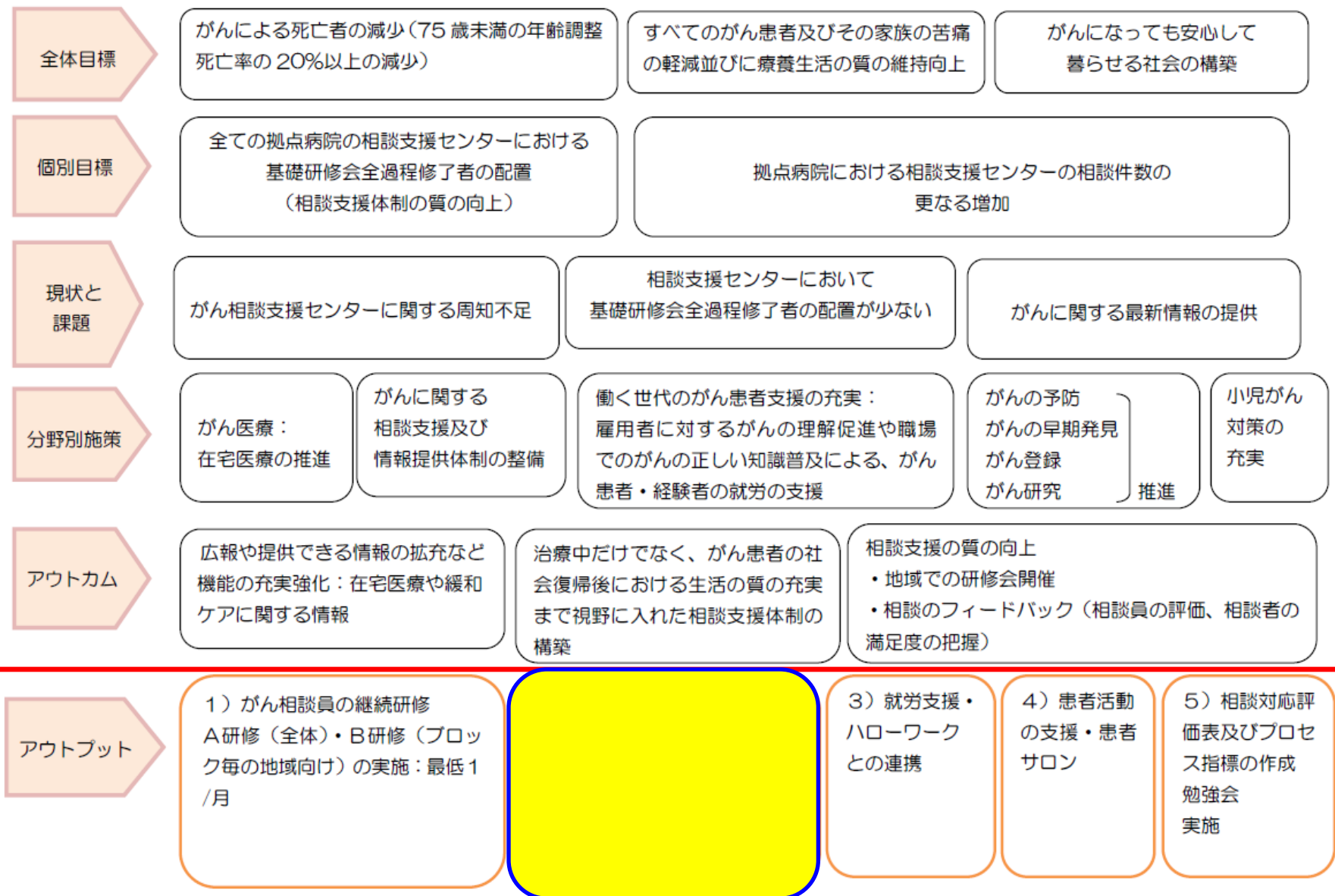


平成28年 福岡県がん診療連携拠点病院 がん専門相談員 年間計画・実績

		H28 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H29 1月	2月	3月
地域連携・情報専門部会			● 28						● 8						● 6	
相談員連絡会議				● 11		● 25WG			● 8WG							● 15
福岡県 A 研修								● 23								
福岡県 B 研修	北九州ブロック		● 13				● 21	定例会 1回/2～3か月							● 4	● 4
	筑豊ブロック	連携会議 1回/2～3か月											● 7			
	福岡ブロック	定例会 平成29年度から計画中									● 1			● 20		
	筑後ブロック	連絡協議会 1回/月										● 12				
九州沖縄地域相談支援 フォーラム in 沖縄															● 11	
広報・周知活動	どんたく (天候不良中止)					▲ 3日										
	「健やかフェスタ」 (出張相談)								● 9～10							
	NHK フォーラム がんと生きる (出張相談)											● 28				
	ラジオドラマ (RKB) 活動インタビュー										10.3～11.4					
国立がん研究センター 指導者フォローアップ研修								● 16								
図書館連携	図書館ワークショップ															
	レファレンス											● 14				
	筑豊地区連絡会議		● 5		● 26		● 22			● 28						
	飯塚図書館祭り (28～30)										● 29					
	ワークショップ in 大分	● 25										● 28				

平成28年度 活動目標設定（福岡県のがん対策推進基本計画からWGで提案）

【福岡県 がん相談支援センター PDCA実施状況チェックリスト：がん相談支援センタープロセス指標】NO 1



がん相談支援センター 問題解決に向けた具体的項目（可視化） 平成28年度

【課題解決に向けた活動の可視化】

NO 2

大項目		小項目	備 考
1) がん相談員の継続研修 (相談員の資質向上)		① A研修会実施	
		② B研修会実施(各ブロック) ・地域の特性を加味し、連携業務を行っている地域の医療・福祉・ 介護関係者との研修を企画	
2) 広報・周知活動	院内広報	① 紹介カード配布	
		② リーフレット活用	
		③ 主治医より紹介	
		④ 緩和ケアチームとの協同・連携	
		⑤ がん相談支援センターの表示の工夫	
	院外広報	① ホームページ	
		② 「がん相談支援センターを地域の輪につなげる」新企画の検討	
		③ 地域図書館との連携拡大(地区の拡大)	
		④ がん医療がん在宅医療ガイドブックの紹介	
		⑤ がん相談支援センターのポスター活用	
3) 就労支援・ハローワークとの連携		⑥ 市民公開講座でリーフレット配布	
		① 就労に関する研修会への参加	
		② 研修会の情報伝達	
		③ 社会労務士との連携	
4) 患者団体への支援体制、患者サロンの 更なる発展のための取組		④ ハローワーク福岡中央との連携	
		① がん患者サロン実施継続	
5) 相談対応評価表及びプロセス指標作成		② 福岡県相談員連絡会議で各サロンの情報交換を行う	
		① 評価表について勉強会実施	
		② 福岡県がん対策に基き、案を作成	
		③ PDCAサイクル	

がん相談支援センター プロセス評価 平成28年度

【福岡県 がん相談支援センター プロセス指標】 平成28年度

*がん相談支援センターを「センター」と表示

*実施有無：回数や〇、×で記載。（年間）

アウトカム				プロセス		
全体 目標	分野 別 施策	患者や家族及び市民	がん相談支援センター	実施状況の例示	実施 有無	備 考
		必要な条件	必要な条件・状態			
すべての がん患者 及びその 家族の 苦痛の 軽減並び に療養 生活の 質の維持 向上	がんに関する 相談支援 及び情報 提供体制 の整備	- 相談の場があると感じる人が増える - 相談支援センターの役割を知っている人が増える	- その人にとってアクセスしやすい相談場所、相談の入口がある - 多様な相談先がある（院内・院外連携） - 複数の相談場所がある（院内・院外連携） - 医療従事者及びがん患者、家族、地域の人が相談支援センターの役割や場所を知っている	センター窓口が分かりやすくなっている		
				センター案内をわかりやすい場所に提示している		
		- 問題や困りごとの整理ができる - 問題や困りごとの対処方法を見つけることができる		センターでどのような内容の相談ができるか表示されている		
			- 相談者のがんや状況の理解を助ける事ができる - 科学的根拠に基づく信頼できる情報が提供されている - 困りごとの本質を見極め、困りごとに対する術や情報提供をできる - 理解を促進する説明ができる - 医師や看護師等へ理解を促進するような橋渡しができる - 医療連携が円滑に行われている - 相談員間、相談支援センター間で起きている課題の共有や解決法の情報提供ができる - 匿名で相談対応できる事、個人情報の保護や適切に取り扱われる体制がある	主治医からセンターを紹介してもらう体制がある		
		意思決定に必要な情報が得られる		相談員基礎研修会を受講した相談員が配置されている		
			- 患者サロンの運営や協力をする - 患者会活動の支援をする	福岡県相談員A研修会に参加した		
		医療者との関係性がスムーズになる		福岡県相談員B研修会を開催した		
			相談員の質の保持	がんに関する院内研修会に参加した		
		不安等の感情の表出できる		がんに関する院外研修会や学会に参加した		
				研修会で得た情報を相談員で共有した		
		患者が孤立しない		連絡会議に参加した		
				連絡会議を開催した（ブロック毎）		
		患者同士の交流の場ができる		協議会や部会に参加した		
				協議会や部会で得た情報を院内の関連部署で共有した		
				図書館と情報交換を行った		
				院内の医療者からの相談に対応した		
				院外の医療者や福祉関連部署等の相談に対応した		
				相談内容を分析し、改善しうる課題を検討した		
				がん相談対応評価表を使用し、評価した		
				評価した内容をブロックで検討した		

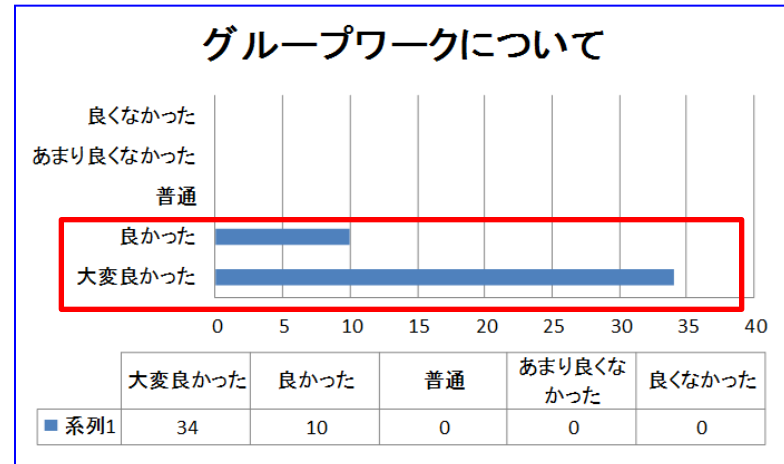
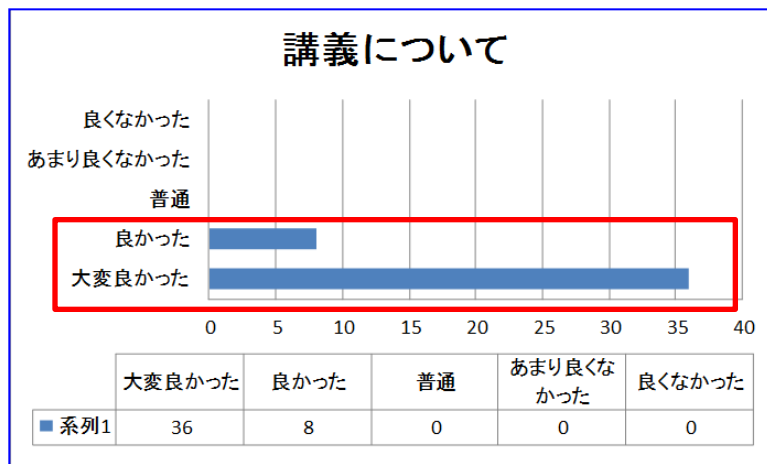
2月末に各拠点病院から
自己評価を提出予定

がん専門相談員の研修会体制

	A 研修会	B 研修会
対象者	がん相談支援センター がん専門相談員	広くがん医療や相談支援に かかわる従事者
目的 (学習目標)	・相談支援の知識、技術の向上 ・研修企画運営力の向上 ・ファシリテーション力の向上	・がん相談支援のプロセスを学ぶ ・がん相談支援センターの役割を知る ・相談員や施設間の情報共有と連携
企画運営	指導者研修会を受講した相談員	各ブロックのがん専門相談員
対象地域	県全体	各ブロック
運営費用	各拠点病院より拠出	各拠点病院より拠出 参加費は各ブロックで検討
内容	(行動計画を3年で設定) H26年6月28日 コミュニケーション H27年7月18日 面接技法 H28年7月23日 意思決定支援	北九州: 相談支援のプロセス 筑豊: 多職種の勉強などに参加して がん相談支援センターの役割を説明 福岡: がん患者家族を支える支援者の姿勢 筑後: コミュニケーションスキル
その他	研修会ごとにアンケートを実施して評価を行う。	

A研修会「意思決定支援」 報告

対象者	県内のがん診療連携拠点病院の相談員(19拠点病院)		
日 時	2016年7月23日(土)9:00~12:30		
開催場所	九州大学病院	参加数	42人(受講生)+6人(ファシリ)
開催内容 プログラム	①講義「意思決定支援について」九州大学病院がん看護専門看護師 坂本節子先生 ②個人ワークとグループワーク「意思決定支援に関する事例検討」		
学習目標	・「意思決定支援」とは何かを述べる事が出来る } 講義 ・「意思決定支援」のプロセスを学ぶ ・自身の実践を客観的に振り返る事ができる } 個人ワーク ・自身の振り返りを言語化する事ができる ・グループワークでは、積極的に発言し意見交換ができる } グループワーク ・グループワークや全体共有を通じて、実践に活かせる知識を身につける		
工夫点	個人ワークで3か月後の行動目標を記載し、後日自己評価を行うアンケートを実施		



A研修会 「意思決定支援」 講義とワーク（個人・グループ）



福岡県「がん医療ガイドブック」3部作ついに完成！！

- ①福岡県と九州大学の共同事業(がん患者支援ネットワーク事業)
- ②患者さんの視点で企画。医療者が業務でも活用できる内容にしている
- ③二部構成(がん医療・在宅医療の基礎知識／施設アンケート結果)
- ④書店やネットショップで購入できる(木星社 2000円＋税 A4版)



福岡版 2014年3月



筑後版 2015年3月



北九州・筑豊版 2016年3月

「ラジオドラマ」と「ラジオインタビュー」

不安・痛み・悩みを1人で抱え込まない
ラジオドラマCM『明日への扉』を
10月に放送します

放送期間：2016年10月3日（月）～2016年11月4日（金）
チャンネル：RKBラジオ（RKB毎日放送）
【AM】福岡：1278kHz／北九州：1197kHz／大牟田・行橋：1062kHz
【FM】福岡局91.0MHz／北九州局91.5MHz／糸島局94.6MHz／行橋局94.8MHz

放送時間帯：毎週月曜日～金曜日 16時54分頃から5分間

ミニドラマの構成：
ドラマは全6種類・あり、1話3～4分程度でいずれも一話完結です：
第1話：やっぱり家がいいよネ♪
第2話：まさか！？ 私が乳がん。
第3話：お父さん、手術してよっ！！
第4話：がんでも仕事は辞めません。
第5話：もう痛みはがまんしない
第6話：医療用麻薬はこわくない

制作・企画：国立がん研究センターがん対策情報センター
協力：福岡県がん診療連携協議会地域連携・情報専門部会
協力：緩和ケア推進コンソーシアム
後援：福岡県、RKB毎日放送

*放送スケジュール等の詳細はこちらからもご確認ください
http://ganjoho.jp/public/consultation/cisc_pr/radioCM/fukuokaken.html



病気に伴う心と体の痛みを和らげるラジオCMシリーズは国立がん研究センターが企画・制作し、緩和ケア推進コンソーシアムがお届けします。

国立がん研究センター
National Cancer Center Japan

緩和ケア
推進コンソーシアム
Palliative Care Consortium

運動企画：ドラマ「明日への扉」に登場するがん専門相談員が、みなさんの相談にお応えします：
出張がん相談会
@すこやかフェスタ2016

- 日時：2016年10月9日（日）・10日（体育の日）10時～17時
- 会場：エルガーホール8階 大ホール
- 共催：国立がん研究センターがん対策情報センター
福岡県がん診療連携協議会地域連携・情報専門部会
- 協力：RKB毎日放送
- 後援：福岡県
- 相談は無料です。予約も必要ありません。直接会場までお越しください。

詳細はこちらのホームページからもご確認ください



制作・企画：国立がん研究センター
がん対策情報センター
協力：福岡県がん診療連携協議会 地域連携・情報専門部会

「がん相談促進キャンペーン」!!としてがん相談が気軽にできる事を紹介したラジオドラマ「明日への扉」とがん専門相談員のラジオインタビューを放送しました。

放送期間：2016年10月3日（月）～2016年11月4日（金）

チャンネル：RKBラジオ

放送時間帯：毎週月～金 16:45分から5分間

ドラマ構成：全6種類 1話3～4分で一話完結

1話：やっぱり家がいいよネ♪

2話：まさか！？ 私が乳がん。

3話：お父さん、手術してよっ！！

4話：がんでも仕事は辞めません。

5話：もう痛みはがまんしない

6話：医療用麻薬はこわくない

「ラジオインタビュー」

ラジオインタビューでは、がん専門相談員が生出演をして、がん相談支援センターや相談員の役割などについて紹介しました。

病気が引き起こす不安や痛みに対して、ひとりで悩まずにぜひご相談ください。全国のがん専門相談員と一緒に考え全力でサポートします。



「すこやかフェスタ de がん相談！」

The poster for 'Sukoyaka Festa 2016' is set against a green background with a bokeh effect. At the top left is the 'rkb' logo. Below it, text reads '県民幸福度 No.1!'. The main title 'すこやかフェスタ 2016' is in large, stylized orange and red characters, with 'Sukoyaka Festa' in smaller English text below. A yellow-bordered box on the right contains the text: '国立がん研究センターの がん相談コーナーなど 健康関連ブースが 多数出展!!'. The event dates '2016年 10月9日(日)10日(月・祝)' and '入場 無料' are prominently displayed. The venue '会場 エルガーラホール8F' and address '〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1-4-2' are listed. A section titled '〈講演会&セミナー 10日 エルガーラホール7F〉' is followed by the slogan '「健康寿命」をのぼす知恵を学ぼう!'. A photo of a smiling man in a green shirt is shown, with text identifying him as '総監修 南雲吉則ドクター (はぐちよしのり)'. Below this is a photo of a busy booth with people, captioned 'あなたの「健康寿命度」の無料診断!'. At the bottom, it lists the organizing committee, sponsors, and contact information for RKB Event Bureau.

県民幸福度 No.1!

すこやかフェスタ 2016
Sukoyaka Festa

国立がん研究センターの
がん相談コーナーなど
健康関連ブースが
多数出展!!

2016年
10月9日(日)10日(月・祝)
入場 無料
開場時間 10:00~17:00

会場 エルガーラホール8F 〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1-4-2
〈講演会&セミナー 10日 エルガーラホール7F〉

「健康寿命」をのぼす知恵を学ぼう!

あなたの「健康寿命度」の無料診断!

命の食事

今日感テレビおなじみ!
総監修 南雲吉則ドクター
(はぐちよしのり)

※写真は去年開催の様子です。

〈主催〉県民幸福度No.1 すこやかフェスタ実行委員会
〈後援〉福岡市、北九州市、毎日新聞社、特定非営利活動法人 日本抗加齢協会
〈協力〉福岡県、福岡大学、西日本リビング新聞社、西日本エルガーラビル

【お問い合わせ】 RKB イベント事務局 092-844-8837
ホームページ ▶ <http://rkb.jp/sukoyakafes/>

ラジオドラマ(RKBラジオ)の連動企画として「すこやかフェスタ(県民向けの健康展)」でパンフレット配布や出張がん相談を行いました。各拠点病院のがん専門相談員が交代でブースの対応や個別相談を担当しました。

キャッチフレーズ

「ラジオドラマに登場するがん専門相談員が、みなさんの相談にお応えします。」

日時:2016年10月9日(日)~10日(月・祝)10時~17時

場所:エルガーラホール8階(福岡市中央区天神)

対象:一般県民

相談実績:47名

主催:福岡県保健福祉局健康医療部地域医療課

国立がん研究センターがん対策情報センター

「すこやかフェスタ de がん相談！」



出張がん相談@フォーラム「がんと生きる～こころとからだ私らしく～」

フォーラム
がんと生きる
～こころとからだ 私らしく～

「がん」になっても自分らしく生き抜くために。
治療の副作用や、がんを抱える悩みに寄り添う「支持療法」や「緩和ケア」があります。
診断時からじまる“さまざまな苦痛”を和らげることが、治療そのものに効果があることも分かってきています。
フォーラムでは最新の医療情報を交えながら、がんと生きる本人、そして医療者とともに語り合います。

参加者募集中

日時: 2016年 **11月12日** (土)
開場: 午後0時30分 開演: 午後1時 終演: 午後3時30分 (予定)
※途中休憩あり

会場: **アクロス福岡 イベントホール**
住所: 福岡県福岡市中央区天神1-1-1

定員: **700名** 参加無料 (事前の申し込みが必要です。申し込み方法は裏面をご覧ください。)

交通

- 天神大牟田線「西鉄福岡(天神)駅」から徒歩約10分
- 地下鉄空港線「天神駅」東口より徒歩約3分
- 西鉄バス「市役所北口」停留所下車すぐ など

※公共交通機関をご利用ください。

主催: NHK厚生文化事業団 NHKエンタープライズ 読売新聞社
後援: NHK福岡放送局 厚生労働省 福岡県 福岡市 社会福祉法人福岡県社会福祉協議会 社会福祉法人福岡市社会福祉協議会 公益社団法人福岡県医師会 一般社団法人福岡県歯科医師会 公益社団法人福岡県薬剤師会 公益社団法人福岡県看護協会 公益社団法人福岡県商工組合連合会 福岡県がん診療連携協議会
協賛: ツムラ



市民フォーラムの会場内にて出張がん相談を行いました。フォーラムでは最新の医療情報とともに、本人に寄り添う支援のありようについて、医療従事者、当事者の方が語り合いました。

(NHKテレビ:2017年1月28日放送)。

日時:2016年11月12日(土) 13:00～15:30

場所:アクロス福岡(福岡市中央区天神)

対象:一般市民(定員700人)

相談実績:23名(時間不足で対応できない人もいた)

主催:NHK厚生文化事業団 NHKエンタープライズ

読売新聞社

＜出演者＞

- 田村 和夫(福岡大学医学部総合医学研究センター 教授)
沖 英次(九州大学 消化器・総合外科 診療准教授)
近松 あや(九州がんセンター 緩和ケア認定看護師)
山本美裕紀(がん当事者・NPO法人キャンサーサポート 理事)
町永 俊雄(コーディネーター 福祉ジャーナリスト)

フォーラム「がんと生きる」



公立図書館等職員レファレンス研修 ～がん情報の探し方～

「いつでも、どこでも、だれでもが、がん情報を得られる地域づくりの第一歩」、「地域での医療・健康情報の提供と支援を充実させるため」を目的として、公立図書館の職員を対象にレファレンス研修会をおこないました。

第1回 平成27年11月16日(月)13:00～13:50

第2回 平成28年11月14日(月)13:00～14:00

場 所:福岡県立図書館

主な内容:講義とグループワーク

- ・がん相談支援センターの紹介
- ・がん情報の探し方 ほか



「九州のがん診療連携拠点病院と公共図書館が、市民への医療情報の提供に向けて連携を強化している。病気や治療法などを調べようと図書館を訪れる市民は多く、病院側が有益な医療情報を図書館職員に教え、図書館の対応力向上を図るなどしている。」

＜アンケートなどからわかった事(一部)＞

- ・多くの司書の方は病気に関する本探しの相談を受けていた。→ 相談しやすさがある。
- ・がん相談支援センターを知らない司書の方も多い。
- ・具体的な情報を求めて図書館へ来る利用者は多い。
- ・おすすめの書籍をすすめられても選定に困る。

西日本新聞(2016年1月8日)

<http://www.nishinippon.co.jp/npn/medical/article/229971>

図書館との連携①

公共図書館等職員レファレンス研修



図書館との連携②

出張がん相談@「飯塚市立図書館まつり」

筑豊ブロックでは「がん情報普及のための連携会議（平成27年8月～）」を定期的に行っています。連携会での企画として図書館まつりへの参加を行い、がん相談支援センターの広報と出張がん相談をおこないました。

日時: 2016年10月29日(土) 10時～16時

図書館まつり: 10月28日(金)～30日(日)

＜活動内容＞

- ・がん情報ブースの設置
- ・がん相談支援センター窓口案内
- ・検診をすすめるパンフ配布
- ・ほか

図書館との連携は、北九州ブロック、福岡ブロック、筑後ブロックにおいても、パンフレット設置や配布、連携会議、イベント時の相談ブース出展などの連携が少しずつ進んでいます。



ハローワークとの連携

(求職者の方へ)

通院・入院中の患者さんで
長期療養しながら、働きたいという方へ
～ハローワーク福岡中央による出張就職支援のご案内～

- ◆通院の必要はあるが、働きたい。
- ◆自分の病状、体力にあった仕事を見つけたい。
- ◆治療と仕事の両立の仕方について教えてほしい。
- ◆しばらくぶりに仕事に戻ることに不安を解消したい。
- ◆就職活動で、企業に病気のことを伝えるべきか迷っている。
- ◆仕事復帰に際して、どんなスキルが必要か知りたい。

▼
こんな悩み・不安の解消をサポートします。

ハローワーク福岡中央では、専門の就職支援担当者「就職支援ナビゲーター」を配置。マンツーマンであなたの就職を支援します。能力や適性、病状、治療状況などを考慮しながら就職支援を行います。

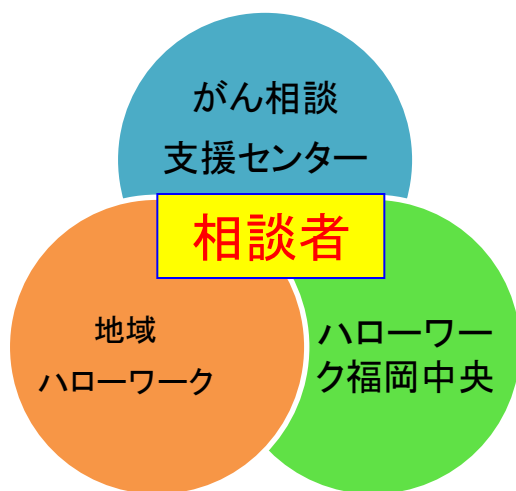
- 症状、通院状況に配慮した求人を探します。
- 仕事復帰の不安解消のための相談に応じます。
- 応募書類の作成や面接の受け方についてアドバイスします。
- 職業訓練や就職支援セミナーなどをご紹介します。

ハローワーク福岡中央の就職支援ナビゲーターが皆さまの相談に応じます。ぜひ、ご利用ください。

- がん患者さんが対象です。
- 相談は無料です。
- プライバシーは保護します。

九州がんセンター 福岡労働局 ハローワーク福岡中央

ハローワーク福岡中央と九州がんセンターと連携し「就職支援ナビゲーター」が出張就職(就労)支援を行っています。各拠点病院からの相談もできます。地域のハローワークとも連携して支援をします。



項 目	件 数
プレ相談	31
相 談	36
新規求職	13
紹 介	14
就 職	21

長期療養者就職支援事業(福岡県)
平成28年度(4月～9月)※就職支援
ナビゲーター谷屋氏より情報提供

九州がんセンターの出張就職相談

毎月第3木曜日13:00～16:00(要予約)

毎月第2金曜日「患者家族教室(13時～14時)」前後

毎月第4水曜日「がんサロン(13時～15時)」前後

「がんサロンちっこ」

がんサロンちっこ

久留米市キラリ輝く市民活動活性化事業

～ひとりで悩まないで～

参加者の声

「周りに言えないことも、患者同士だと本音で話ができるので嬉しかった。」

「経験者だからわかってもらえる。そんな人達と話ができて気持ちが楽になりました。」

「元気をもらって、すっきりして帰っています。」

気軽にお立ち寄りください。

定期開催 毎月第2土曜日 14時～16時 (受付13:45～)

ミニ講演 14:00～14:30		交流会 14:40～16:00	
73回	28年10月8日(土)	抗がん剤治療をよりよいものに	久留米大学病院 薬剤師
74回	28年11月12日(土)	6周年記念講演会	九州がんセンター 医師
75回	28年12月10日(土)	みんなで話そう ～体験談～	虹の会
76回	29年1月14日(土)	障害年金の請求について	社会保険労務士
77回	29年2月11日(土)	がんリハビリテーション	久留米大学病院
78回	29年3月11日(土)	みんなで話そう ～体験談～	虹の会

患者さんと家族
ならどなたでも
参加できます

ミニ講演のあと
交流会を
行います

予約不要・参加無料

場 所: くるめりあ六ツ門 6階 みんなくる
地図参照 地下駐車場・契約駐車場
(トラストパーク)をご利用ください
西鉄バス「六ツ門」下車 徒歩3分
(地下及び隣接の駐車場は、みんなくる事務局でのスタンプ
捺印により2時間無料になります)

くるめりあ六ツ門 久留米市六ツ門3-11 202

主 催: 筑後ブロックがん相談支援センター連絡協議会
(朝倉医師会病院・大牟田市立病院・久留米大学病院・公立八女総合病院・
聖マリア病院)
患者団体: がんサロンちっこ「虹の会」

後 援: 久留米市・高等教育コンソーシアム久留米

事 務 局: 久留米大学病院がん相談支援センター【TEL 0942-31-7903】
(担当) 原・廣畑

73-78W

開催日: 毎月第2土曜日 14時～16時
(平成22年10月開始)

場 所: くるめりあ六ツ門6階
(久留米市の街中ショッピングモール)
対象者: がん患者およびその家族。名前は匿名でも可。
がん種の制限なし。

内 容: ミニ講演(30分)+交流会(90分)
運 営: 患者会(虹の会 2011年4月発足)
筑後ブロックがん相談支援センター連絡協議会

<特 徴>

- 街中で開催している
- 20名/回の平均参加(初参加2～3名/回)
- 満足度は高い(また参加したい90%以上)※アンケートより
- 話しやすい雰囲気がある
- 企画運営は患者会が中心に行っている
- 久留米市助成金を全額活動費としている(約27万/年)
- 患者会の方はピアサポーター研修会を受講している
- 患者会同士の交流も盛ん
- 毎年11月には一般市民を対象に記念講演会を実施
- 久留米市以外でも「サテライト開催(2カ所)」をしている

サロンの開催や支援は他のブロックでも活性化している。「ちっこ」の運営をひとつのモデルとして確立していきたい。

「がんサロンちっこ」

※アンケートより



大牟田でのサテライト開催



「笑ってがんを蹴り飛ばそう～講演と落語～」
六松亭小蝶(九州がんセンター杉本理恵先生)



6周年記念講演会(2016年11月12日)

患者会代表の杉本眞理さんが、くるめ市広報誌(2016年7月1日号)で特集されました(見開き一面)。告知や治療のこと、家族の事、治療をしながら働くことの大変さや生きがい、サロンの役割や効果についても語っていらっしゃいます。この後からサロンの参加者もさらに増えました。

平成29年度の活動キーワード（ビジョン）

がん相談支援の質（評価）

災害時のがん相談支援センターの役割や対応

広報・周知活動（出張がん相談 図書館連携 まつり 他）

研修費の予算立て（請求）

就労支援（ハローワーク 社労士との連携 他）

オール九州でのがん相談支援（県域を越えた連携）

2月・3月の専門部会にて活動目標・
行動計画の検討・決定